



自己紹介

大淵由貴（おおぶちゆき）1988年東京都江戸川区出身。千葉大学法経学部総合政策学科卒。大学時代は環境NGOの活動に従事、また休学してバンクーバーでワーホリを経験。卒業後、電機メーカーで5年間営業を勤め、会社を退職して青年海外協力隊としてマダガスカルで活動中。

収入向上活動のイベント実施

～講習会で習った料理で販売活動～

かまど作りや料理講習会を実施した農村で収入向上活動の実践の一環としてイベントを実施しました。今回は料理講習会に参加した牧師さんが、習ったシチューを住民に知ってほしいという思いもあり、日曜日のお祈り後に教会を借り、教会建設資金を集めるという目的でプログラムの準備をしました。

＜実施したプログラム＞

①料理販売

（にんじんケーキ、シチュー、パン）

②浴衣着付（着付無料、写真撮影有料）

事前に販売したい量の材料を購入するように依頼。前日準備に行ってみるとちぐはぐな量の材料が…。使えると言っていたオーブンも壊れていたので鍋で代用。ドタバタしましたが、無事に料理販売、さらには浴衣の着付けを通して日本文化体験も実施することができました。NAMANA vol.24で紹介した小学校で実施したイベントの反省を活かした部分もありますが、新たな課題はしっかり振り返ろうと思います。

（写真上：料理販売、写真下：記念撮影）



浴衣の着付け文化体験

右の記事で書いた浴衣着付け体験。女性用浴衣しか用意がありませんでしたが、男性が着てみたいと言ってくれました。日本人からすれば女性用・男性用は別物ですが（男性の着付けの仕方もわからず…笑）、マダガスカル人にとってはささいな違い。正確ではないけれど日本文化を体験してもらえました。



良かった点

- ・内容に関して**マダガスカル人が意思決定**（例：価格設定：私は少し高く感じたが、売れ残りはなかった）
- ・料理講習会でシチューを教えたマダムからパンと一緒に**セット販売する提案**
- ・毎週日曜のお祈りの後に設定したので、**事前広報不要**

課題

- ・**販売量未決定**のまま材料を購入していた
- ・日曜日の**プログラムを事前把握していなかった**（お祈りを3時間している間にシチューが冷めてしまった）
- ・**必要な建設資金はケタ違い**で、資金集め方法としては小規模すぎた

首都近郊の動物の宝庫 アンダシベ

～自然保護区、私営動物園、ナイトツアー～

首都から日帰りできる距離にあるアンダシベという地域に行きました。動物園や自然保護区があり、多種類のキツネザルやカメレオンを見ることができます。今回一番楽しかったのは**ナイトツアー**。ツアーと言っても、日没後に現地ガイドとともに保護区周辺の舗装道路沿いを歩くだけ。ですが、**何かが出てくるかもしれない肝試しのような気持ち**になり、1時間ちょっとのウォーキング中は終始ドキドキ！木の上で眠っているカメレオン、小型の夜行性のキツネザル等に出会えました。暗いためガイドさんが見つけた動物を目で追うだけでも大変でしたが、一瞬のかすかな動きを捉えて動物を見つけ出すガイドさんの技は、一見の価値ありです。

